

ネイチャー・ウォーク

令和 8 年 6 月

2026. 6. 20 発行

(通巻第 385 号)

ECO  SAITAMA

公益財団法人

埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

■ 5月のネイチャー・ウォーク

おおいなる西部 ～森と湿地とキャンパスと～

西武バス 早稲田大学～同バス停（オプションコース有）

2026 年 5 月 24 日（日）のネイチャーは、早稲田大学 所沢キャンパスで、保全の取組を続けている湿地（通称「B 地区湿地」）を歩きました。普段は入れない場所を、説明を聞きながら見学できる貴重な機会とあって、32 名の方にご参加いただきました。

比良の丘のウワミズザクラの前で記念撮影！





西武小手指駅より、まずはバスに乗って早稲田大学まで移動。早稲田大学で、湿地の案内をしてくださる山口さん、馬谷原さんと合流し、いざ出発！



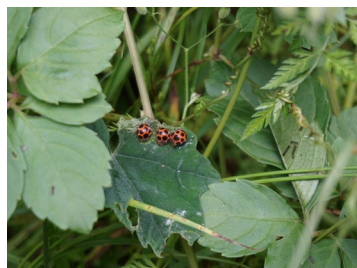
入口手前で馬谷原さんより、同地を大学が取得し環境保全の取組を進めることとなった経緯について説明いただいた後、B 地区湿地へ。



木道を進みながら、馬谷原さんより保全の取組とそのねらいを説明いただきつつ、湿地の動植物を観察しました。

道路により隣の湿地と分断されているため、生きものが移動できるようにトンネルが設置されていました。自動撮影カメラでは、様々な生きものがトンネルを通っている様子が確認されているとのことです。

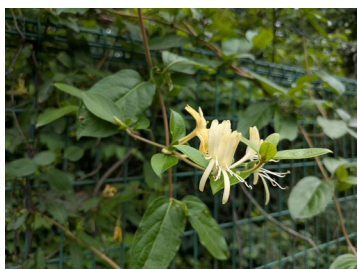
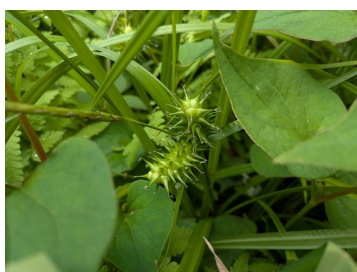
湿地ではキツネノボタン、コウヤワラビ、湿地を抜けて少し乾燥した場所では、ブタナ、イボタノキ、カラムシ、トホシテントウ等を観察できました。



大学構内の貴重な自然を守る取り組みについて丁寧にご説明いただき、大変有意義な時間となりました。馬谷原さん、山口さん、ありがとうございました。

昼食後はいったん解散とし、希望者を対象に大学から狭山湖まで行くオプションコースを実施しました。オニスゲやスイカズラ、暗い林の中で鳴くキビタキやアオゲラといった狭山丘陵の生物を観察しました。

狭山湖ではチガヤ草地の上を“ヒッヒッヒッ…”と鳴きながら飛ぶセッカをみなさんで観察しながら、西部球場駅まで歩きました。



みなさん、お疲れ様でした。次回も是非ご参加ください。